

北アルプス 笠ヶ岳穴毛谷第二尾根

北アルプスならしっかり雪があるだろうとのことで、今回は自分の行きたいところに。しかし北アルプスに行けそうなレベルの雪稜はあまりない。そもそもそんなに知らない。ということでちょっと前の岳人に載っていたここに決めた。

【日程】

2015年3月20日(日)
~3月21日(月)

【メンバー】

田邊(シ)、萩原

【地形図】

笠ヶ岳

【記】萩原

3月21日(日) : 曇り

新穂高の駐車場からもう雪がない。まだちょっと眠い中歩き始め、穴毛谷へ入る。記録や田邊さんの記憶と比べて、やはりここも雪が少ないようだ。沢が轟々と流れている。記録では単純に雪上を歩いて遡っていたところを、藪混じりに堰堤を越えていかなければならない。ガスって先が全然見えないのも相まって、かなりの時間を使ってしまった。

デブリ混じりの沢を登り、ニノ沢を過ぎる。笠ヶ岳方面の斜面を見ても雪が多いようには見えなく、藪しかなかったら登るのどうしようか…というような雰囲気の話になる。まそれでもとりあえず三ノ沢の脇の緩い尾根からとりつくことにする。

最初は緩い斜面を登る。ガスの合間から左に細い尾根が見えるが、藪しか見えなく登る気にはならない。足下はツボ足でふくらはぎ、たまに膝まで埋まるぐらいだが、微妙にしんどい。一面ガスで視界不良、寝不足なのもあってどうにも頭が覚醒しない。。

しばらく歩いていると尾根が急に細くなってきた。ようやく雪稜らしくなり、目も覚めてきた。細くなった尾根を慎重に歩いて行くが、このルートで有名なキノコ雪は出てこない。ここまできると雪が少ないとは感じなかったが、やはり少ないのかな。

しかし15時頃?になってキノコ雪に近いものが現れた。4mぐらいだが藪の上に90度の雪壁がでんと乗る。ロープを出して藪の枝を支点にする。藪に足を乗せて一歩上がり、ダブルアックスの石突を雪壁に刺し、足をつっこむ。ふむ、想像以上に雪がやわすぎる…(汗)理想ではダブルアックスで一歩一歩踏み固めながらガシガシ登っていくはずだったが、うかつに足を動かすと足場を崩して下まで抜けてしまいそうになる。なので足場を崩さないように目の前の雪を掘りまくる。掘りまくって傾斜を緩くして足をあげていく。これがかなり疲れる…数歩登れたと思ったら、油断して足が甘いとまたズルズルと下がる。かなりの体力を使ったところで、また足が甘く足がズルズルと滑る。今度は1mちょっとぐらい下がってしまい、登り始めた場所に立った。と思ったらザックの重みで後ろにもう1mほど落ちてしまった。雪面に着地していたが、ロープにテンションかかってしまった。もうこれ以上は時間も体力もないので田邊さんが突破する。結構最後まで掘ったと思ったが、まだかなり掘る必要があったようだった。

初日の核心はこんな感じであとは上げられるだけ高度をあげて幕とした。テントも急斜面をなんとか削り、平らなところで寝ることができた。

3月21日(月) :晴

夜中もスノーシャワーの音が何度も聞こえるなあ。とか思っていたらちょっと寝坊した。今日は晴れの予報だが薄くガスが広がる。

テントを撤収し、目の前の急斜面をダブルアックスで登り始める。出発して数歩でダブルアックスは初めての経験だ。正直しんどい。少しすると大きな岩壁が見えた。正面の藪混じりで雪があるところを突破もできそうだったが、ぐるっと岩の脇をまわっていくルートも繋がっていきそうだったのでそちらから登る。すっきりと登れた。

その後は雪がグズグズ、尾根が細くなる場所もあったが難しいところはなく、バックの穂高連峰を眺めたりしながら確実に登って行った。

稜線にたどりつき、握手。ミスも多かったが、達成感もある。頑張った、俺。

少し休み、時間もないのでヒロサコ尾根方面にさっさと下山した。

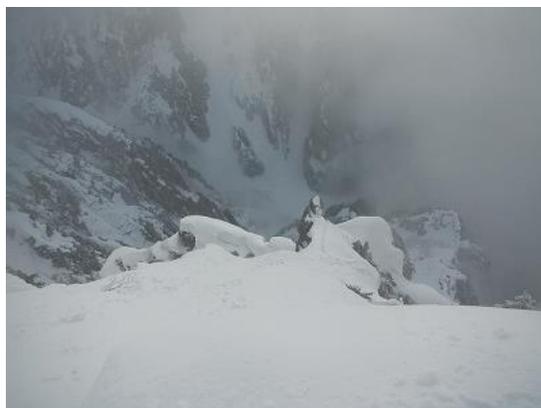
【行程】

3/20 新穂高駐車場 (5:00) ~三ノ沢出合 (8:00) ~2050mC1 (17:00)

3/21 C1 (7:00) ~稜線 (11:30) ~新穂高駐車場 (17:00)



急斜面ながら快適



初日に上がった高さ



ここを抜ければ後は歩くだけ



穂高をバックに最後の登り